

製品名: MRP-L51 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14136**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	MRPL51
別名	MRPL51; MRP64; CDA09; HSPC241; 39S ribosomal protein L51; mitochondrial; L51mt; MRP-L51; bMRP-64; bMRP64
遺伝子 ID	51258.0
SwissProt ID	Q4U2R6
免疫原	抗血清はヒト MRPL51 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

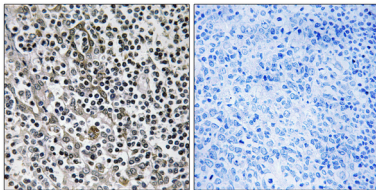
背景

哺乳類ミトコンドリアリボソームタンパク質は核遺伝子によってコードされ、ミトコンドリア内でのタンパク質合成を助けます。ミ

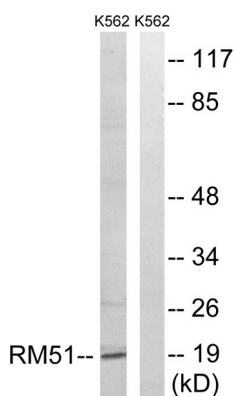
トコンドリアリボソーム (ミトリボソーム) は、小さな 28S サブユニットと大きな 39S サブユニットで構成されています。ミトコンドリアリボソームのタンパク質と rRNA の比率は、原核生物リボソームの約 75% と推定されていますが、原核生物リボソームではこの比率が逆転しています。哺乳類ミトリボソームと原核生物リボソームのもう一つの違いは、後者が 5S rRNA を含むことです。種によって、ミトリボソームを構成するタンパク質の配列は大きく異なり、場合によっては生化学的性質も異なるため、配列相同性による識別は容易ではありません。この遺伝子は 39S サブユニットタンパク質をコードしています。この遺伝子に対応する擬遺伝子は、染色体 4p と 21q に存在します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]サブユニット:ミトコンドリアリボソーム大サブユニット(39S)の構成要素で、16S rRNA と約 50 種類の異なるタンパク質から構成されています。

研究分野

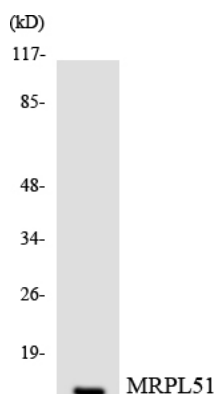
画像データ



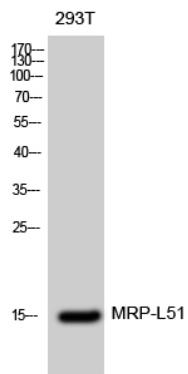
MRPL51 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



MRPL51 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MRPL51 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した MRP-L51 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウエスタンブロット解析